

事務事業名		農業集落排水施設整備事業		所属部	上下水道部	所属課	下水道課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈定住環境〉〉		所属G	整備維持グループ	課長名	須田 弘	
	施策名	〈11〉下水道の整備		担当者名	新田利治	電話番号	0854-42-3471	
	目的	対 象	市民	意 図	衛生的な生活環境の中で暮らすことができる。			
	基本事業名	〈031〉下水道経営の安定化		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	農業集落排水施設整備事業		
目的	対 象	下水道事業経営	意 図	健全に運営する。			中事業 中事業名	農業集落排水施設整備事業

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (23 年度～ 25 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
供用開始から5年以上経過した施設について、機能を発揮しているかどうかを診断する。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動)	25年度計画(25年度に計画する主な活動)			
		木次町3地区、三刀屋町4地区について機能診断業務委託を行った。	三刀屋町2地区、掛合町4地区の機能診断業務と、最適整備構想を行う。			
② 活動指標		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 機能診断調査地区	地区		5	7	6
	イ 最適整備構想	件				1
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	共用開始から5年以上を経過した集落排水処理施設(18施設)	ア 5年を経過した施設	地区		18	18	18
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
機能診断及び最適整備構想を策定する。	ア 機能診断調査地区	地区		5	7	6	
	イ 最適整備構想	件				1	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)		② コストの推移		単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
機能診断業務委託 委託料(木次町) 5,668千円 委託料(三刀屋町) 8,141千円 計 13,809千円	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円		10,200	13,800	16,460
		県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円		6	9	60	
		一般財源	千円					
		事業費計(A)	千円		10,206	13,809	16,520	
人件費		正規職員従事人数	人		1	1		
		延べ業務時間	時間		130	130		
		人件費計(B)	千円		512	509		
		トータルコスト(A)+(B)	千円		10,718	14,318		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
農業集落排水施設については22箇所あり、供用開始からかなり年数がたったものもあり、老朽化が顕著である。	供用開始から5年以上経過した施設について、機能を発揮しているかどうかを診断する。	施設の維持管理業者は、早急な修繕又は施設改善を望む声もある。

事務事業名	農業集落排水施設整備事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課
-------	--------------	-----	-------	-----	------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
C 効率性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		理由 供用開始から5年を経過した施設についての機能診断及び最適整備構想について委託により適切に策定されるため。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 この事業は3箇年の継続事業で、途中休止・廃止は出来ない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	
<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由 1地区2,000千円以内の事業費で、できる限りの調査をしている。
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 全委託であり、削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 市の持ち出し無くして施設の調査ができるため、財政的にも負担はない。
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
3年間の事業で、各施設の現状把握をし、修繕・更新計画を立て、計画的かつ効率的な維持管理へとつなげる。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			